

令和元年産

大崎稲作情報 第4-2号

令和元年7月23日発行

宮城県米づくり推進大崎地方本部

大崎農業改良普及センター

TEL：0229-91-0726 FAX：0229-23-0910

<http://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

今回のポイント

- ・7月20日以降も曇りや雨の日が多い予報となっており、**いもち病の感染に好適な日が続きます。**
- ・**いもち病の早期発見・早期防除に努めましょう。**

1 水稻生育調査ほの生育概況

- ・草丈は、平年より短い傾向にあります。
- ・茎数は、北部平坦の「みやこがねもち」を除いて、ほぼ平年並となっています。
- ・葉数は、平年より少ない傾向です。
- ・葉色は、平年よりも濃い傾向となっています。
- ・幼穂長をみると、北部平坦の「ひとめぼれ」及び西部丘陵の「まなむすめ」は7月18日に減数分裂期（幼穂長3cm）に達したと見込まれます。また、北部平坦の「金のいぶき」、西部丘陵の「ひとめぼれ」及び山間高冷の「ゆきむすび」は7月15日、北部平坦の「みやこがねもち」及び直播「ひとめぼれ」は7月18日に幼穂形成期（幼穂長1mm）に達したと見込まれます。
- ・なお、今後の気温が平年並みで推移した場合、北部平坦の出穂期は、8月2日～8月8日頃になる見込みです。（表2）

表1 7月19日の調査結果

地区名 (地帯区分)	品種名 (田植・播種月日)	草丈 (cm) (平年比)	茎数 (本/m ²) (平年比)	葉数 (枚) (平年差)	葉色 (SPAD) (平年差)	幼穂長 (mm) (平年差)
三本木 (北部平坦)	ひとめぼれ (5月4日)	66.4 (87%)	514.6 (100%)	11.4 (-0.4)	38.0 (+3.2)	34.8 (-34.5)
小野田 (西部丘陵)	ひとめぼれ (5月19日)	63.8 (90%)	519.6 (98%)	11.5 (-0.6)	43.3 (+6.5)	5.4 (-22.9)
古川 (北部平坦)	ササニシキ (5月8日)	65.8 (90%)	600.0 (100%)	12.2 (±0.0)	38.4 (+3.3)	9.8 (-35.0)
三本木 (北部平坦)	だて正夢 (5月4日)	67.6 (-)	467.6 (-)	12.0 (-)	35.6 (-)	13.0 (-)
三本木 (北部平坦)	金のいぶき (5月10日)	66.9 (-)	510.3 (-)	12.3 (-)	34.6 (-)	5.0 (-)
宮崎 (西部丘陵)	まなむすめ (5月12日)	63.2 (90%)	477.3 (96%)	11.3 (-0.5)	35.6 (+1.5)	35.8 (-2.1)
鳴子 (山間高冷)	ゆきむすび (5月24日)	55.3 (-)	318.5 (-)	10.0 (-)	43.7 (-)	5.3 (-)
真山 (北部平坦)	みやこがねもち (5月19日)	57.9 (84%)	440.3 (82%)	12.3 (-0.6)	32.6 (+1.1)	1.6 (-5.7)
加美 (北部平坦)	直播ひとめぼれ (5月6日)	54.3 (82%)	567.2 (104%)	9.8 (-0.9)	39.6 (+5.8)	1.9 (-3.9)
県全体		65.1 (91%)	544.0 (104%)	11.7 (-0.4)	38.0 (+3.4)	25.5 (-33.5)

※平年比・差は、前5か年（平成26年～平成30年）の平均値との比較。

県全体は、ひとめぼれ、ササニシキ、まなむすめの生育調査ほ35地点の平均値。

表2 地帯区分別生育ステージの予測（7月15日現在）※県古川農業試験場作成資料抜粋

地帯区分	田植時期	幼穂形成始期	減数分裂期	出穂期
	始期～終期	始期～終期	始期～終期	始期～終期
北部平坦	5/2～5/19	7/2～7/12	7/12～7/22	8/2～8/8
西部丘陵	5/7～5/26	7/5～7/17	7/15～7/27	8/5～8/13
山間高冷	5/7～5/27	7/16～7/24	7/26～8/3	8/14～8/22

※1) 7月15日までアメダスデータ実測値を使用，7月16日以降はアメダス平年値を使用。

※2) 対象品種は「ひとめぼれ」，「ササニシキ」，「やまのしずく（山間高冷）」。

2 今後の管理

(1) 病害虫防除

① いもち病

- 曇りや雨の日が多い予報となっており，いもち病の感染に好適な日が多くなります。しっかりほ場の観察を行い，早期発見・早期防除に努めましょう。
- 特に追肥後は，一時的にいもち病に対する抵抗力が弱まるので，注意願います。
- 本田で発生が確認された場合は，直ちに茎葉散布剤で防除しましょう。特に箱剤を入れていないほ場では，注意しましょう。

感染に好適な条件	3 つが全て満たされると感染に好適な条件となります。好適条件が連続して広域で出現した場合，約 2 週間後に葉いもちの発病の増加が始まります。
1 葉面湿潤時間が 10 時間以上	
2 葉面湿潤時間中の平均気温が 15℃～25℃	
3 前 5 日間の平均気温が 20℃～25℃	



葉いもちの病斑

※最新の葉いもち感染好適条件の出現状況は，宮城県病害虫防除所ホームページで確認できます。
HP<<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/blastam.html>>

その他今後の管理等は，「大崎稲作情報第4号（R1.7.12 発行）を参照願います。」

3 今後の気象

東北地方 1 か月予報

(7月20日から8月19日までの天候見通し)

令和元年 7月 18日

仙台管区気象台 発表※一部抜粋

<特に注意を要する事項>

東北太平洋側では、期間の前半は日照時間が少ない状態が続く見込みです。

<予想される向こう 1 か月の天候>

向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北太平洋側では、期間の前半は、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。

向こう 1 か月の日照時間は、東北太平洋側で平年並または少ない確率ともに 40%です。

週別の気温は、1週目は、平年並の確率 50%です。2週目は、平年並の確率 50%です。

<向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	30	40	30
【降水量】	東北地方	30	30	40
【日照時間】	東北太平洋側	40	40	20

<気象経過の各階級の確率 (%) >

		低い	平年並	高い
1 週目	東北太平洋側	30	50	20
2 週目	東北太平洋側	30	50	20
3~4 週目	東北地方	30	40	30

<予報の対象期間>

1 か月	7月20日(土)~8月19日(月)
1 週目	7月20日(土)~7月26日(金)
2 週目	7月27日(土)~8月2日(金)
3~4 週目	8月3日(土)~8月16日(金)

◆◆◆◆◆◆◆◆農薬危害防止運動実施中(6月1日~8月31日)◆◆◆◆◆◆◆◆

農薬を使用する前には、必ず使用可能な作物名等ラベルなどで確認し、使用時期、使用方法、使用量を守って適正に使用しましょう。

※最新の農薬登録情報は、農林水産消費安全技術センターホームページで確認できます。

HP<<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/vtllm001.html>>